

こま

くさ

令和7年度

6月25日No17

仙北市立生保内小学校

学 校 報

教育目標~夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

学校の様子から

6月17日 『花の苗植え』(人権の花)





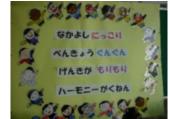
育つことを期待しています。生保内応援団の3名 の方にも植え方のお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。

『学級目標を紹介します!』

学校の教育目標は『夢に向かって やさしく!か しこく!たくましく!』です。その学校の教育目標 を各学年の実態に合わせて具現化するために、また、 それぞれの学年で身に付けたい力を伸ばすために 「学級目標」を立てています。

「学級目標」は、学級会など子どもたちの話合い で決定します。

◇1 年生→「なかよし・にっ こり! べんきょう・ ぐんぐん! げんきが もりもり! ハーモニー 学年!」



◇2年生→「なかよし えがおいっぱい! べんきょうがんばる 2年生!」



◇3年生→「気持ちにより そうあたたかい3年生 よく聞き・よく話す はりきり3年生 何でもチャレンジ あきらめない3年生」



◇<u>4 年生→「なかよく笑顔</u> で明るいクラス」



◇5 年生→「元気でやさしい Happy なクラス 23 人みんなで協力! すばやくきりかえ・ やるき満々トライ学年」



◇6 年生→「みんなで協力 し合い・チャレンジし 続ける・あきらめない 元気学年」



以前、学校報「こまくさ」でも紹介しましたが、 子どもたちの主体的な活動を支えていくために、本 校では「特別活動」(学級活動等)を基盤にした活動 に重点を置いて諸活動に取り組んでいます。その諸 活動の拠り所になるのが「学級目標」になります。

各学年、学級目標の達成をめざして学級活動をが んばっているところですが、その様子の一部(係活動について)を紹介いたします。

1年生も係活動がスタートし ました。くいずがかり、うたが かり、まじっくがかり、おたん じょうびかかり、しょうかいが かり、かざりかかりの6つの係 でした。本格的な係活動の始動 に、子どもたちのワクワク感が 伝わってきました。

2年生は7つの係がありまし た。昨年の経験をもとに自分た ちがやってみたいことをめあて にすることができていました

3年生の係は、「みんなが楽し むゲームがかり」、「みんながも りあがるイラストがかり」、「た んじょう日の人をおもいっき り喜ばすたんじょう日がかり」 など、係名にも表れているよう に自分だけでなく学級全体の ことを考えた活動に取り組む ことができていました。

4年生は、係表にどんなこと をするか(いつ・どこで・何を する) が具体的に書かれていま

す。係表の下のコルクボードには、係の連絡や係活 動で作ったものなどが貼られています。ひと目でど んな活動をしているかが分かりました。

5年生は、係表に前期(9月 ぐらいまでの)の計画が書かれ ていました。同じことを続ける だけでなく、見通しをもって 様々な活動することで係活動 の活性化につなげています。

6年生は、係表の下に月ごと のふりかえりを記入して、その 反省を翌月に生かせるように していました。ふりかえりを生 かしてさらに良い活動になる ように考えていくことで、係活

動がさらに充実していくと思います。











5年生

このように、学年の実態に合わせて係活動に取り 組み、がんばっています。7月9日のPTA授業参観 では授業だけでなく、係活動のコーナーも見ていた だけたら嬉しいです。

係活動で身につく力について

小学校の特別活動の「係活動」には、子どもたち の成長を支える**大切な意義**がいくつもあると言わ れていて、その意義の代表的なものとしては、次の ようなものがあります。

₹ 1. 自主性や責任感を育てる

係活動は、自分の役割を持ち、クラスのために働 く経験を通して主体的に動く力や責任を果たす意 **識**を育てます。「自分がこの仕事をしなければ」と いう気持ちが自然と芽生えてきます。

□ 2. 協働・人間関係の構築

他の係の友だちと協力する中で、コミュニケーシ ョン能力や相手を思いやる気持ちが養われます。役 割を越えて助け合ったり、問題を解決したりする場 面も、子どもたちにとっては貴重な学びになります。

♥ 3. クラスへの帰属感を高める

「自分がクラスの一員として役立っている」という 実感が、**仲間意識や連帯感**につながり、教室がもっ と心地よい場所になっていきます。

♥ 4. 問題解決能力・創造力の育成

活動の中でうまくいかないことが出てきたとき、 どうすればいいかを考えて動くことで、**試行錯誤す る力や工夫する力**も育ちます。ちょっとした掲示物 やアイデア出しなども、子どもたちの創造性を引き 出すきっかけになります。